

想定外!?

11月9日～15日は「秋の火災予防運動」/

防火と救急

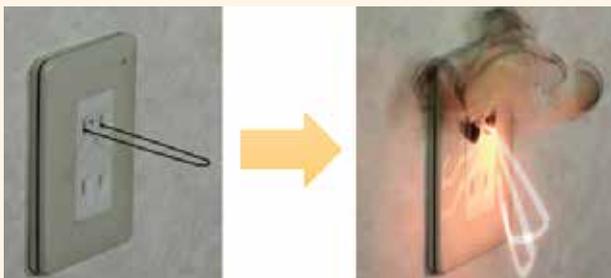
子どもの好奇心が起こす火災

子どもにまつわる火災でイメージされるのは、マッチやライターを使用した「火遊び」と思われがちです。しかし、最近では、コンセントにヘアピンなどの金属を差し込むことで火花が散り、子どもがケガをしたり、火災になる事故が発生しています。



事例 1

保育所で2歳の女児が頭に着けていたヘアピンをコンセントに差し込み、熱せられた破片が火花となって飛散。付近にあったタオルが燃え、本人も感電し、指に軽いやけどを負いました。



- ④コンセントにヘアピンを差し込む実験
- ⑤コンセントに差し込まれたキーホルダー付きの鍵。リングが一部溶けてなくなっています。

事例 2

家族で楽しんだホットプレートでのバーベキュー。食事を済ませた後、いつものように鉄板部分を洗い、乾くまでの間、重ねた新聞紙の上に本体を一時保管。数日経過し、その上に新聞紙がさらに重ねられ、ホットプレートの存在を忘れたころ、幼児が垂れ下がっているコンセントプラグを見つけ、コンセントに差し込んだ。家族が気付かないまま放置され、熱せられたホットプレートから新聞紙に引火。火災となりアパートが全焼しました。



火災を防ぐポイント

- ①ヘアピン、クリップなど金属製品を床に置いたままにせず、子どもの手の届かない場所に保管しましょう。
- ②使用していないコンセントには、いたずら防止用コンセントキャップなどを取り付けることも、火災を防ぐ方法の1つです。この場合、子どもが取り外しにくい形状のものなどを選びましょう。
- ③家での子どもの行動に気を配りましょう。

子どもは大人がすることをよく観察しているだけでなく、それをまねすることで発達します。



【令和3年町内の火災等発生状況】

発生区分	8月中	累計
火災	建物	0 3
	車両	0 0
	林野	0 0
	その他	0 1
	警戒出動	3 14
救急出動	128 943	
救助出動	0 9	

問 益城西原消防署 ☎ 286-2119